



半田 滋さん

東京新聞論説兼編集委員

2017

6/10 (土) 午後2時開演

越谷市民活動センター活動室
(東武スカイツリーライン
越谷駅東口前 ツインシティ B 棟5階)

参加費 500円

共催

安保法制・東埼玉違憲訴訟の会
越谷9条の会

安保法制違憲訴訟埼玉の会

後援

埼玉障害者市民ネットワーク
東埼玉百人委員会、山猫くらぶ

お問い合わせ

石井 ☎048-965-6883

倉橋 ☎048-986-5846

半田滋(はんだ・しげる)さんプロフィール

1955(昭和30)年生まれ。91年中日新聞社入社、東京新聞論説兼編集委員
92年から防衛庁を取材。2007年、東京新聞・中日新聞連載の「新防人考」
で第13回平和・協同ジャーナリスト基金賞(大賞)を受賞
著書「戦地派遣」(新潮新書)、「日本は戦争をするのか」(岩波新書)等多数

「安保法制違憲訴訟裁判の経過報告」

お話し 小内克浩さん(弁護士)

講演会ではあわせて安保法制違憲訴訟の会から全国で闘っているこの裁判について担当弁護士が報告します。埼玉では第1次と2次の提訴で448名が原告となっています。またそれを支える弁護士は105名にのぼります。現在、第3次提訴の原告を募集しています

2017年 投票の地盤へGo! 訴訟前線拡大中!

安保法制違憲訴訟

▽トランプ政権は歴代共和党政権の中でも最も危険な政権です。必ず戦争を起こすと思っていました。そして世界の中で最も仲良しなのは英国と日本です。

▽安保関連法を手にした安倍首相は「積極的平和主義」で北朝鮮有事に前のめりになっています。「やったらやり返す」。その矛先は韓国であり、日本です。米軍基地の七〇%が集中している沖縄であり、横田基地など司令部がある首都圏です

▽日米軍事同盟がどこまで進んでいるか。北朝鮮有事の場合それがどのように展開されるのか。半田さんにはそのへんのことを一番聞きたい

「戦争法」に「まどろみ」をみる自衛隊

南スーダン、北朝鮮
中国をめぐる